

事業所名：こども発達支援センターホープ

公表日：令和8年3月18日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			お子様の特性や状態等に合わせて、その都度部屋の使い方や人数等の調整や工夫をしています。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・ 公休や送迎、親子療育との兼ね合い等で手薄になる時間帯や場面はある(利用児の状態にもよる)。 ・ 配置基準上は適切だが、公休や出張時等状況によっては不足することがある。 ・ 時々不足しているという時があるが、見守りのやり方を工夫しているので安全面に支障はない。	現在のスタッフ数でできる範囲での支援を行っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7			現在の建物は、オールバリアフリーです。何かご不便があればお知らせください。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・ 活動できる空間がいくつもあり、利用児童のニーズに対応できている。	清掃や消毒等日々心掛けております。また状況に応じて部屋を使用する人数を調整する等の対応をしています。
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			お子様の体調や気持ちの状態等に合わせ、必要に応じて個別で対応をしています。
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7			毎日の朝礼や月1回の会議、また随時のケース検討会議等意見交換を行っています。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			放課後等デイサービスガイドラインに沿ったアンケートを実施し、業務改善につなげています。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6			令和元年11月に第三者評価を受け、その結果から業務改善に努めています。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7			法人全体での研修（虐待防止研修等）も毎年実施しており、オンライン研修システムの利用や必要に応じてホープ内でも勉強会を開催しています。
適切な支援の提供	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			支援プログラムは令和6年度に作成し、ホームページにて公表しております。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7			毎年年度初めにアセスメントを実施しています。また、モニタリングの面談時に保護者様やお子様からのニーズを伺ったうえで計画を作成しています。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
適切な支援の提供	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・スタッフ会議でのいろいろな意見も参考に作成されている。	計画の作成時やモニタリングを作成する際は、お子様の療育や支援に携わっているスタッフで会議を行い、お子様の様子や支援などについて共有、検討しています。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7			また、作成した計画は全スタッフで共有し、共通理解を図っています。
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			認知、行動、言語等、お子様に合わせて必要な評価を実施したり、ホープ独自でのアセスメント表を使用しています。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等サービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・学校現場との情報交換が工夫されている。	モニタリングの面談時に保護者様やお子様からの意向を伺ったうえで、支援目標の設定を心がけており、作成後は面談にて保護者様へ説明をさせていただいております。何かご不明な点やご要望等(意向の変更や追加等)ありましたら、お気軽にお知らせください。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			活動の前後にミーティングを行い、活動の計画に反映させています。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			お子様のその時の状態にもよりますが、同じ内容でもレベルを上げたり、活動の中で役割を持たせたり、関わる視点を替える工夫をしています。
	19 こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			保護者様やお子様の意向を基に、お子様の状態を踏まえつつ保護者の方と相談し、必要に応じて活動環境や内容を検討しています。
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			親子通園、単独通園共に、支援開始前は関わるスタッフで打ち合わせや対応の確認等を行っています。
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		・支援翌日に前日の支援の振り返りを行っている。	親子通園は療育終了後に振り返りを行っています。単独通園はその日に実施が難しい為、翌日の支援開始前に振り返りを行っています。
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			毎回ケース記録をとり、情報共有に努めています。
23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			ホープ内、相談支援事業所とのモニタリング等を定期的に行い、保護者様の意向も確認しながら見直しの判断に役立っています。	
24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
	25	7		・視覚支援カードの工夫がされており、利用児童の発達段階を考慮されている。	
関係機関や保護者との連携	26	7			現場の状況を知っている児童発達支援管理責任者が参加しています。会議前には現場スタッフと情報共有もしています。
	27	7			
	28	7		・訪問されての情報交換がなされており、スタッフにもその内容が詳しく伝えられている。	単独通園では、毎日のお迎え時等に学校の先生方と情報交換・共有を行っています。親子通園の方も、必要に応じて電話等で情報交換や共有を行っています。
	29	7			必要に応じて町の保健師や教育委員会、こども園等の関係機関と情報共有をしています。
	30	7			移行に際しては保護者様や学校等関係機関と連携しながら、お子様や保護者様からのニーズに応じて実施していきます。
	31	6			必要に応じて、他事業所や医療機関等と連携をとり、協議や研修等を行っています。
	32	7		・今年の夏休み中に交流会が行われ、こども達もスタッフにも良い経験となった。	単独通園の方を対象に、夏休みにみのり学童さんとの交流会を開催しました。今後も継続して実施していく予定です。
	33	7			自立支援協議会こども部会や、川棚町特別支援教育コーディネーター会議へ参加しています。
	34	7		・タブレットを使つての連絡が密にされており、ミーティング時にも保護者からの連絡を伝えられる。	親子通園の方は療育時に、単独通園の方は連絡帳アプリや送迎の際等に保護者様と情報共有等を行っています。
	35	7			ペアレント・トレーニングを毎年実施しております(参加対象、定員の設定あり)。参加希望やご質問等、お気軽にお声かけください。
保護者への説明等	36	7			毎年年に1回、面談時にご説明させていただいております。ご不明な点があれば、いつでもお尋ねください。
	37	7			モニタリングの面談時に保護者様やお子様からの意向を伺ったうえで、支援目標の設定を心がけています。何がご不明な点やご要望等(意向の変更や追加等)ありましたら、お気軽にお知らせください。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
保護者への説明等	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			作成した個別支援計画書は保護者様に見ていただきながらご説明し、同意をいただいています。
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・常に努力されている。	ご相談等があった際は、電話や連絡帳アプリ、個別面談等、状況に合わせて対応をさせていただいております。
	40 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・おしゃべり交流会、夏まつりを実施。	・保護者様同士の交流の場として「おしゃべり交流会」を10月に開催いたしました。 来年度も実施予定です。ぜひご参加ください。 ・また、8月に夏祭りを開催し、ご家族やきょうだい様にも参加していただきました。 来年度以降もご家族全員でご参加いただけるイベントを計画中です。
	41 こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			苦情受付担当者や苦情解決担当者等の体制を整備し、迅速に対応できるよう努めております。（契約時にご説明しております） ご意見等、ご遠慮なくお申し付けください。
	42 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7			・年2回法人全体での広報誌の発行の他、活動の様子やお知らせ等、随時ホームページに掲載しています。 ・保護者様との連絡は39メールや電話等で対応しています。
	43 個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			契約時に個人情報の取り扱いについて説明を行っています。また、一年更新で個人情報同意書を作成し、同意をいただいています。
	44 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・障がいに合わせてこどもの個々のケアをよくされていると思う。	お子様に対しては、それぞれのお子様に応じた説明を行っています(例：絵カードや写真、スケジュール表等、見てわかる形で示す等)。 保護者の方とはメールや電話、連絡帳アプリ等手段は様々ですが、随時ご相談等に対応しております。
45 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5	・地域との交流は確認できない	今後法人で開催する行事等がある際は、ご案内させていただきます。	
非常時等の対応	46 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・詳しいマニュアルが作成されている。	新規契約時と、マニュアルの変更があった際に、随時保護者の方へご説明とお知らせをさせていただきます。 各マニュアル等は保護者の方がいつでもご覧いただけるよう、待合室にファイルを設置しておりますのでご覧ください。
	47 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7			BCPを作成し、現在6月と2月に避難訓練を実施しております。実施後はホームページ等にて発信しております。

非常時等の対応	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・ミーティングやスタッフ会議の時に情報を共有されている。	契約時の聞き取りや毎年年度はじめに実施するアセスメント等でお子様の様子等を把握するとともに、必要に応じて保護者の方と状況等の確認をさせていただきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4		・今現在対応児なし ・該当者なし ・服薬等の情報もよく周知されている。	契約の際にアセスメントを取って食物アレルギーの有無を確認し、該当されるお子様には主治医の指示等保護者の方と丁寧に情報共有しながら対応させていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			昨年度より「安全計画」を作成しております。新規契約時と、内容の変更があった際に、随時保護者の方へご説明とお知らせをさせていただきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・児童の安全を第一とした対応がきめ細くなされている（怪我、熱発等に対して）	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・常にお互いの情報を文章化する努力がなされている。その度、良い学びの場が提供される。	日々の支援の中で危険を感じた際は、スタッフ間で共有するようにしており、事故防止に向けて対策を検討しています。ヒヤリハット集も作成しております。万が一事故等が発生した際はすぐに検証、要因、改善策をスタッフ間で検討、共有しております。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7			毎年法人内で行われる虐待防止研修会等に参加しています。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7			身体拘束は行っていないが、今後身体拘束が必要な場合は、契約時に丁寧に説明しています。また、放課後等デイサービス計画書にも記載して、説明を行い、同意をいただいています。	